

# 第4回検討会での主なご意見

令和4年5月18日  
観光庁

# 第4回検討会での主なご意見①

関係箇所	主な意見
Ⅱ. 観光を取り巻く現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本検討会の名称にも表れているように、<u>今般のコロナ禍でどのような社会変化をもたらされたのか、アフターコロナの観光に関してどのようなことが重視されるかについても強調して記載してはどうか。</u></li> </ul>
Ⅲ. 今後の取組の方向性と取り組むべき国の主な施策（全体）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ それぞれの施策について<u>どれくらいのタイムラインで取り組むかについても記載</u>するとメッセージがより伝わりやすいのではないかと。</li> <li>■ 表現の強弱をつけて読みやすくするため、「<u>面的再生</u>」や「<u>地域一体</u>」、「<u>高付加価値化</u>」など新たに<u>打ち出しているキーワードをより強調</u>すると良いのではないかと。</li> </ul>
Ⅲ. 1. 観光地の面的再生・高付加価値化の推進、持続的な観光地経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 観光に取り組む地域の関係者に向けたメッセージとして次の二点をより強く打ち出せないかと。             <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の<u>個性や独創性を活かしたゴールイメージをそれぞれの地域がしっかり明確に持つことが重要</u>。ありたい姿が不明瞭のまま施策を進めることが自己目的化しないように。</li> <li>②観光による<u>地域活性化の好循環を生み出すためには、質の高い仕事を生み出すことが重要</u>。地域の人とその仕事を目指し、地方の教育機関が人材を育て、それにより地域人材の持続可能性が生まれるという循環モデルが非常に重要。</li> </ul> </li> <li>■ 今回の検討会で「<u>面的再生</u>」という方向性が打ち出されたのは画期的。単体の企業再生と比べて難易度が高い<u>観光地の面的再生を達成するためには、そのための事業計画を作ることが不可欠</u>。</li> <li>■ 本文全体を通じて、「観光地再生のための<u>具体的なビジョンがあり、地域を一体的にまとめる組織があり、投資を伴う協調行動をするという地域があるならば、そういった地域を重点的に支援する</u>」というメッセージが読み取れる。<u>こうした方向性をより明確に記載</u>してはどうか。</li> <li>■ 『<u>法整備も含めて更なる推進策</u>を検討し、必要な施策を講じる』というのは非常に重みのある所信表明。<u>重要な内容であるため、より具体的に記載</u>してはどうか。</li> <li>■ DMOに対して強いメッセージを込めるという意味でも、「<u>観光地経営</u>」とは何かということをもう少し<u>踏み込んで記載</u>してはどうか。</li> <li>■ <u>観光地の経営を担い得る人材は特に地方部において不足</u>している。都市部から地方部への人材移転や、知識だけではなく実践や応用による育成なども含め、<u>経営者人材をいかにして地方で確保する</u>かが重要になってくる。</li> </ul>

# 第4回検討会での主なご意見②

関係箇所	主な意見
Ⅲ. 2. その中核を担う観光産業の構造的課題の解決 (1) 宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>宿泊業におけるSDGs対応</u>を経営ガイドラインに盛り込む際には、地域における『<b>日本版持続可能な観光ガイドライン (JSTS-D)</b>』の<b>考え方と整合の取れた内容となるよう留意</b>すべき。</li> <li>■ 宿泊業の生産性向上がなされていないのは、<b>旅行需要が平準化されない中で効率性の高い経営・業務を行っていることが原因</b>であるため、そこにメスを入れていくべきである。</li> <li>■ 地域の重要な観光インフラである宿泊施設であっても、<b>事業再生に際しては収益性が確保できることが大前提であり、その点に留意</b>した記載にしてはどうか。</li> </ul>
(2) 旅行業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 災害が発生する度に旅行会社は大変な労力をかけて<b>参加者の安否確認</b>を行なっているが、<b>面的なDXの取組の中で効率化できる</b>。是非国において今後の課題として検討頂きたい。</li> <li>■ アドベンチャーツーリズムのツアーガイドについては、<b>地域で良いガイドを育てることが重要</b>。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本文中の<b>用語について改めて整理・統一を図ってほしい</b>。例えば「宿泊業」と「旅館産業」や「ホテル旅館業」という言葉の使い分け。また、「避難所・療養所」という表現についても内閣府防災が用いている用語と同一のものにした方が良い。</li> <li>■ <b>現状・課題等の記述</b>については、<b>できる限り根拠となるデータや時点を明らかにした方が後々になっても読み手に誤解等を与えずに済むのではないか</b>。</li> </ul>